



さわやか

令和4年2月2日
校長 井上 勝文
担当 石垣 孝明



目標が その日その日を 支配する

校長 井上 勝文

十里の旅の第一歩 百里の旅の第一歩 同じ一歩でも覚悟が違う
三笠山に登る第一歩 富士山に登る第一歩 同じ一歩でも覚悟が違う
何処まで行くつもりか 何処まで登るつもりか



目標が その日その日を 支配する

「第一歩」 後藤 静香（明治時代の教育者）

これは、明治時代の教育者である後藤静香^{ごとうせいこう}さんの言葉であり、横浜高校OBで、10月にプロ野球西武ライオンズを引退した松坂大輔選手が「座右の銘」にしている言葉だそうです。松坂選手が横浜高校時代当時の渡辺元智監督から「目標がその日その日を支配する」という言葉を贈られて以降、これまでずっと大切にしてきたのだと語っていました。

ある有名な登山家が、「なぜエベレストに登るのか」の質問に「そこにエベレスト（目標）があるから」と答えたという有名な話があります。

しかし、山に登るといっても、宝達山に登ると富士山に登るとは、準備からして自ずと違ってきます。宝達山の場合には、比較的軽装で、昼食程度の食糧を持って、細かな計画を立てなくても、一般ルートの登山は可能です。しかし、富士山に登るとなると、多くの準備が必要になります。例えば、服装、食糧、日程等、大がかりに準備を整えて目標を目指します。

日々の皆さんの生活でも、一日を振り返った時、明日は今日よりも充実した一日にしたいと願っているはずです。日々の生活を満足^{まんぞく}のいくものとするためには、やはり山（目標）を決めて、そこに至るルートをしっかり見極めてこそ、充実した日々の実現に繋がるものとなります。最初から大きな目標を立てなくても、できることから始めていけばよいのです。大切なのは、まず「一歩」を踏み出すこと。

さて、昨日、金沢市東長江町での大規模土砂崩れで山側環状が通行止めとなり、私立入試に向かう多くの受験生が大変な交通渋滞に巻き込まれました。しかし、大きなトラブルにはならず、何とか無事に受験を終えることができました。また、2年生の「立志式」は延期となり、かほく市が日程調整中です。

今後、学校は引き続き可能な限りの感染対策を行いながら、子どもたちの学びを止めないよう努力してまいります。保護者の皆様には、今後とも本校の学校運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。

■■■ オンライン授業の実施に向けて ■■■ タブレット端末(クロームブック)の持ち帰り

私立高校入試前の新型コロナウイルス感染症拡大から、白山市立中学校では、いち早くオンライン授業の導入に踏み切りました。現在本校では、その準備を進めている段階で、今後、生徒たちは自宅に端末を持ち帰り、オンライン授業にいつでも取りかかることができるよう態勢を整えてまいります。3年生は、1月28日（金）に全員が端末を持ち帰り、学年休業日の1月31日（月）の朝、学級担任がオンラインによる健康観察を行いました。また、1年生は2月1日（火）に（株）PFUとのオンライン交流会を実施しました。その様子はホームページでもご紹介いたします。最初はうまくいかず失敗することもあると思いますが、回数を重ねることで、子どもたちの学びを止めないよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。



○2月の学習目標

「計画を立て粘り強く学習に取り組もう」

3学期が始まってから1ヶ月ほどの時間が過ぎました。2月にはもう3学期期末テストが行われます。3年生は入試に向けた最後の追い込み、2年生は講座学習を進めながらの初めての定期テストです。計画をしっかりと立て、時間を有効に使って学習を進めていきましょう。2月の学習目標のポイントは「粘り強く」です。「粘り強い取組」とは何なのかを自覚し、計画を実行していきましょう。

【粘り強い取組とは】

- 時間をかけて一生懸命取り組むこと
- 諦めずに最後までやり遂げること



いわば **量** の確保が大事！

今年度から評価の観点に「主体的に学習に取り組む態度」が新たに加われました。この評価の観点が生まれたのは、変化の多い現代において『どのように社会が変化しても、自分の能力を活かして問題を乗り越える力』が必要であると考えられるようになったためです。この観点で重要とされているのが、①粘り強い取組を行おうとする、②自らの学習を調整しようとする、ことです。粘り強く取り組む姿勢は、あらゆる場面で自らの成長に結びつきます。まずは、学習から取り組んでみましょう。

<テストにおける粘り強い取組として良い行動・残念な行動>

- ◎長い期間で計画的に学習を進める ×計画を立てたけど三日坊主で終わる
- ◎わかるまで時間をかけて学習を進める ×わからない分野の学習が進まず諦める

○2月の生活目標

「希望に向かって、最後までやり抜く強い意志を持とう」



基礎・基本をしっかりとすること（守破離）

「守破離」とは、剣道や茶道などで、修業における段階を示したもの。

守 師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身につける段階

破 他の師や流派の教えについても考え、良いものを取り入れ、心技を発展させる段階

離 一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階

この考え方は、皆さんが目標に向かっていくために大切です。特に、中学生の今は、「守」です。守＝基礎・基本です。基礎・基本を大事にすることで応用ができ、最後までやり抜くことにつながります。今一度、基礎・基本を大事にしていきましょう。

宇ノ気中学校の基礎・基本は、宇中ブランド

受験を勝ち抜くために、今年度最後を良い形で締めくくるために、基礎・基本を大切にしてほしいです。宇ノ気中学校の基礎・基本は、宇中ブランドです。宇中ブランドの神髄は、「気づき・先読みの行動」です。生徒会でも「洗面台を拭く運動」「余裕登校運動」「坂ヶ坂運動」「ハウレンソウ運動」を実践していきます。

校則の変更について

以下の校則の部分を本日より変更しますのでよろしくお願いします。

本校指定の体操服は、体育実技・技術での使用の他、部活動、生徒会、その他学校生活などの学年・学級など諸活動で使用できる。ただし、制服の合着や下着としての使用はしない。特に、女子のスカートの下に使用しない。

下線部を防寒・防犯の観点から以下のように変更します。

ただし、スカートの下に体操服のハーフパンツを履いてもよい

※スカートの下からハーフパンツが見えないようにすること